

4 ごみとわたしたち

ごみの問題について

家庭から出たごみのうち、「燃やせるごみ」は焼却され、「燃やせないごみ」はうめ立てられ、ペットボトルなどの「資源ごみ」はリサイクルされます。しかし、ごみをうめ立てる場所はだんだん減っており、このままのペースでいくとうめ立てる場所がなくなってしまうです。

また、ごみを燃やす場合も二酸化炭素が発生し、地球温暖化の原因になります。したがって、ごみの量を減らすことが求められています。

奈良市のごみの量

奈良市の環境清美工場へ1年間に運び込まれるごみの量

2023年度(令和5年度)

約8万1千 トン



1日に出される
ごみの量は
約220 トン

たいいくかん
体育館
(25 m × 20 m × 10 m)



× 81 杯分

※(ごみの量 1 m³当たり 0.2 トン換算)

このうち、家庭から出るごみは約60%



ごみの量の変化



1人1日当たり634 g
捨てているんだよ。

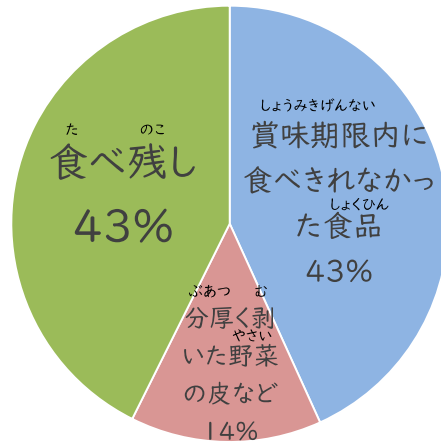


4 ごみとわたしたち

ごみ問題の例

食品ロス

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられる食品のことです。日本における食品ロス全体量の約半分は家庭から捨てられています。残りの半分は食品製造業者や飲食店などの事業者から出ています。これは毎日一人あたりお茶碗一杯分の食品が捨てられていることになります。



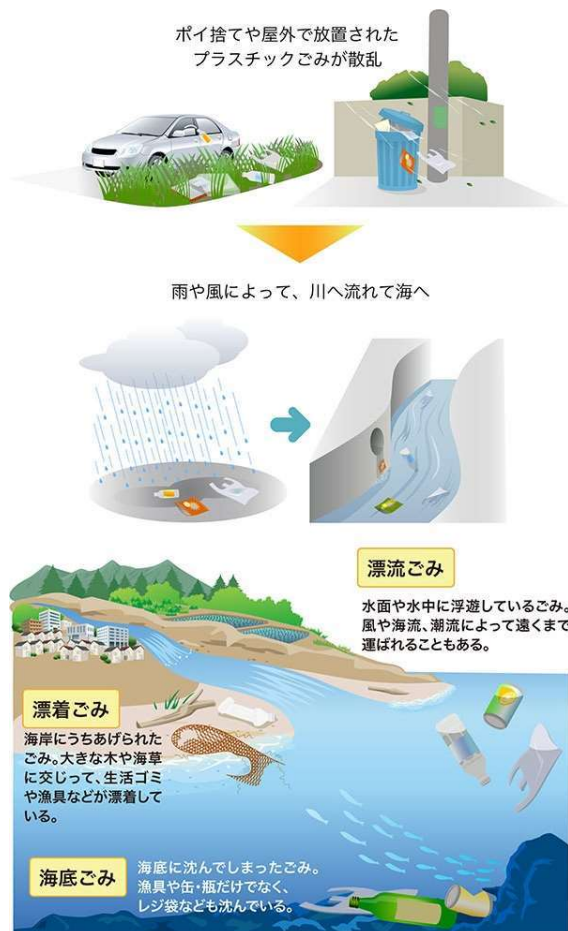
出典：「令和5年度 食品廃棄物等の発生抑制及び再生利用の促進の取組に係る実態調査(環境省)」
(<https://www.env.go.jp/recycle/foodloss/general.html>)
を加工して作成

海のプラスチックごみ

近年、海岸へ漂着したり、海に漂う海洋ごみが問題となっています。

海洋ごみにはプラスチックが多くふくまれており、これらは海を汚染し、海の生き物に深刻な影響をあたえ、観光・漁業などの経済活動へも影響をあたえています。

また、プラスチックごみが小さな破片になった「マイクロプラスチック」と呼ばれる5mm以下のプラスチックも増えており、動物が飲みこむなど、生態系へ影響をあたえるとともに、海産物を通じて人の体に取り込まれ人体に影響を与えることが心配されています。



出典：政府広報オンライン「海洋プラスチック問題に取り組みよう!きれいな海と生態系を守る!「プラスチック・スマート」キャンペーン」

4 ごみとわたしたち

ごみを減らすために^{わたし}私たちが^{わたし}できること

わたしたちがごみを減らすためにできることは、ごみを減らす「リデュース(Reduce)」、くり返し使う「リユース(Reuse)」、資源として再生利用する「リサイクル(Recycle)」という3つの行動が大切です。3つの頭文字が「R」なので、3R(スリーアール)と呼ばれます。

3Rの中では、ごみを減らす「リデュース」が一番重要であり、身近なところでは、食品ロスを減らすために「食べ残しをしない」、「食材は必要なときに必要な分だけ買う」ことなどに取り組みましょう。

リデュース(Reduce) ごみを減らす



- ・ごみになるものを買わない、もらわない。
- ・長く使える製品を買う、手入れや修理をしながら長く大切に使う。
- ・マイバッグを持って無駄な包装は断る。
- ・詰め替え容器に入った製品や簡易包装の製品を選ぶ。

リユース(Reuse) くり返し使う



- ・リターナブル容器に入った製品を選び、使い終わったらリユース回収に出す。
- ・フリーマーケットやガレージセールなどを利用し、不用品の再活用に努める。

※リターナブル容器: 牛乳瓶のように回収し、洗浄して再び使用する容器のことです。

リサイクル(Recycle) 資源として再生利用する



- ・資源として分別する。
- ・リサイクル製品を積極的に利用する。

4 ごみとわたしたち

給食でできること

○ みなさんは給食を残していませんか？

奈良市では市内の小学校、中学校の給食から出る生ごみの堆肥化に取り組んでいます。

給食を残すと食品ロスになるので、食べ残しをしない方法をみなさんも考えてみましょう。



生ごみが畑の肥料に生まれ変わるよ！



生ごみ処理機(平城中学校)



校庭の花壇にも堆肥を活用

家庭でできること

○ 飲んだあとの牛乳の紙パックは洗って、切り開いてからまとめてリサイクルしましょう。

○ ノートやコピー用紙、お菓子の箱といった雑紙を集めて処分することでリサイクルになります。

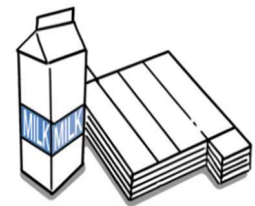
大きさを揃えて紙ひもなどでしばって、廃品回収などに出しましょう。

○ プラマークのついている容器・包装類はきちんと分別して出しましょう。

○ ペットボトルはキャップとラベルをはずしてリサイクルしましょう。

奈良市では、ごみの分別方法などを掲載した「奈良市ごみ分別アプリ」を公開しています。ぜひご活用ください。

<https://www.city.nara.lg.jp/site/gomi-syusyu/9275.html>



4 ごみとわたしたち

しょっきるい 食器類リユースイベント

しょっきるい
食器類リユースイベントは、お家でまだまだ使える^{しょっき}食器を^{あつ}集めて、^ほ欲しい人に^も持って帰ってもらうイベントです。

ここでは「もったいない」と思った^{とうじき}陶磁器やガラスの^{しょっき}食器を持ってきてもらうことで、^す捨てられるはずだった^{しょっき}食器たちを^{ほか}他のだれかにもう一度^{いちど}使ってもらえます。^わ割れた^{しょっき}食器も、^{どうろ}道路の^{ざいりょう}材料などにリサイクルされます。

みなさんの「もったいない」で^へごみを減らしましょう。



じゅんかんがた 循環型社会へ

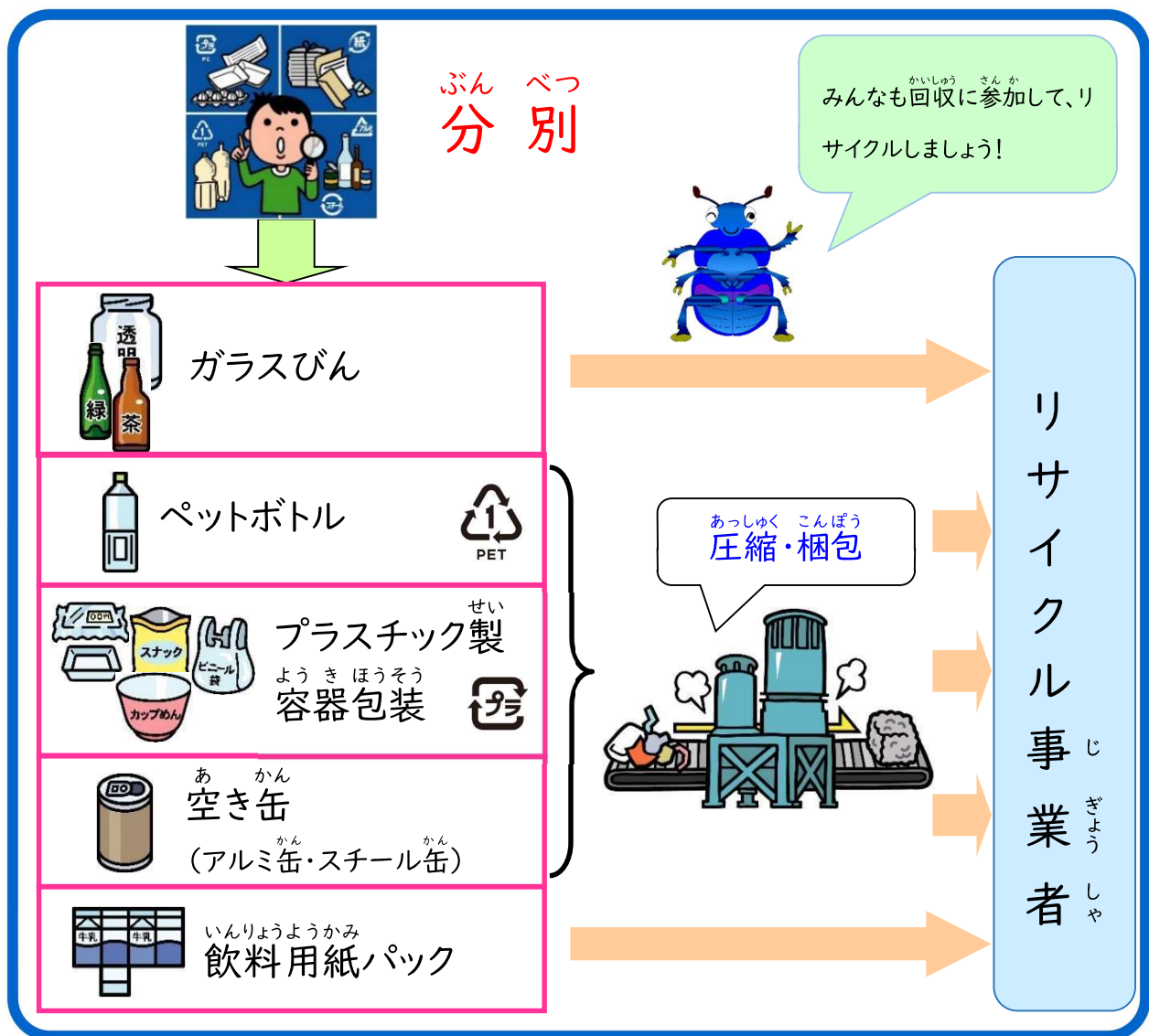
これまで、わたしたちは^{たいりょう}大量にものをつくり、^{たいりょう}大量に^{しょうひ}消費し、^{たいりょう}大量に^す捨てるという生活をしてきました。しかし、^{しげん}資源には^{かぎ}限りがあり、このまま^{つか}使っていくとなくなってしまう、^{ごみ}ごみばかりがたまっていきます。

このような社会を見直し、これからは^{しぜんかい}自然界から^{さいしゅ}採取する^{しげん}資源をできるだけ少なくし、それを大切に^{つか}使い、^{てってい}リサイクルを^{さいしょうげん}徹底して^{おさ}ごみを^{ひつよう}最小限に抑える必要があります。そのような社会を「^{じゅんかんがた}循環型社会」と^よ呼んでいます。

^{じゅんかんがた}循環型社会をつくるためには、^{じっせん}3Rを^{じゅうよう}実践していくことが^{じゅうよう}重要になります。^{ならし}奈良市では^{かいしゅう}ガラスびんや^{さいしげんか}ペットボトルなどの^{ごみ}ごみを^{かいしゅう}回収し、^{さいしげんか}再資源化（^{リサイクル}リサイクル）しています。

4 ごみとわたしたち

ならし さいせい しげん
奈良市の再生資源のゆくえ



どんなものにリサイクルされる

